

学区の名所①



① 熱田神宮

天皇の御位とともに伝わる皇位継承の御璽である、三種の神器のひとつ草薙神剣を祀る。社が鎮座されたのは2世紀の初め頃とされる。

古くから「熱田さん」と親しまれ、6月5日の熱田祭り（尚武祭）には多くの参拝者でにぎわう。

○ 信長堀

永禄3年（1560年）織田信長が桶狭間出陣の際、熱田神宮に戦勝祈願をした。今川義元の大軍と戦い、大勝したお礼として、奉納した堀である。当時は、神殿の周りを取り囲むように造られた。現在は、その一部が残っている。



○ 佐久間灯籠

信長の家臣、御器所城主佐久間盛次の4男勝之が、神宮の加護によって台風の難をのがれることができたことに感謝し、寛永7年（1630）に寄進した。日本三大灯籠の一つである。

○ 二十五丁橋

名古屋最古の石橋。板石が25枚並んでいることから、この名がついたといわれている。二十五丁橋は、かつて神宮をめぐる堀に架けられていた。昭和11年（1936）の境内拡張に際し解体されたが、昭和30年（1955）に現在の場所へ復元された。



学区の名所②

② 七里の渡し船着き場跡

東海道のうち七里の渡しは唯一の海上路。桑名への渡し場でもある宮の宿は、尾張藩の海の玄関として栄えた。

寛永2年（1625）に常夜燈が建てられ、船の出入りの目印とした。現在では「宮の渡し公園」として整備され、常夜燈、鐘楼が復元されて昔をしのばせている。



③ 裁断橋

小田原の合戦の際18歳で病死した堀尾金助の供養のため、母が願いを込めて精進川（東海道筋）に架け替えた裁断橋の擬宝珠に刻んだ碑文が有名である。本校は、堀尾金助の出身地である大口町の大口南小学校と、昭和41年以来、毎年交歓会をもって交流を深めている。

④ 白鳥古墳（しらとりこふん）

6世紀初めごろ造られたと推定されている。全長74メートルの前方後円墳。現在は、前方と後円墳の東部分が削り取られて原形が損なわれている。日本武尊が白鳥となって熱田の宮に飛び来て、降り立った地であることから白鳥御陵と名付けられている。



⑤ 誓願寺

この地に、平安時代末期、熱田大宮司 藤原氏の別邸があった。藤原季範の娘 由良御前は、源義朝の正室となった。身ごもって、熱田の実家に帰り、この別邸で源頼朝を産んだといわれている。産湯の井戸が寺の庭にある。